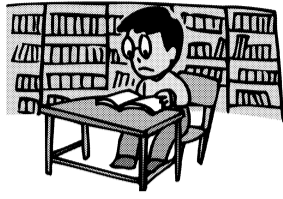


### 子どもの居場所づくり、 学校を地域へ 開放してほしい

**問** ①子どもの居場所づくりとして、例えば学校図書館や地域の教育力を積極的に活用した取り組みを展開してほしい。②第一小学校の夏休み中のフリースペースは一定数の参加者があり、強い要望もある。子どもの遊び場確保としても、有意義な余暇の過ごし方としても有効であり、今年度から中止されることについては再考されたい。

**答** ①授業に支障がなく安全と責任が確保されれば、今後も学校施設を開放していく。小・中学校ボランティア協力員など人的な資源の活用努力をしていく。②今年度、各学校の保護者に対し、アンケート調査によりニーズを把握し、実施方法などあらゆるものを見据えた上で今後検討していく。



### 道下 勇

### 市長が招いた 財政破綻からの 再建策について

**問** ①第3次行政財政改革推進計画改訂版のねらいは何か。②経常収支比率では後退計画だ。③保育園の公設民営化21年度実施に向けてのスケジュールは④職員105人削減の組合と

### 西村 雅司

### 「生活支援のための 行政手続き ガイドブック」 作成について

**問** 日常生活を営む上で誰もががいつ思わぬ不慮の事態に遭遇するかわからない。特に働き手が何らかの事情で倒れた場合、頼りとするところは市役所である。しかし支援の申請に当たっては複雑な手続きを必要とする場合がある。そこで想定される事例を通し、各種支援に対する「行政手続きガイドブック」の作成を検討できないか伺う。

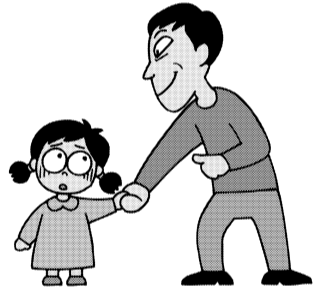
**答** 障害者自立支援法の成立を機に市民部との連携を図りマニュアル的なものは用意、準備していきたい。

### 都市環境 デザインについて

**問** 都市デザインは、一般に「都市空間のデザイン」として認識され、都市空間を構成する自然や建築物、街路、駅前広場などを人間にとって好ましい空間とするよう、多様な立場でかわる人や企業等の関係者を調整する営みであるといわれるが、狛江市の対応は。

**答** 「水と緑の住宅都市」をつくるために、美しい街並み形成を進めていく努力は重要と考える。問題意識を持ちながら、まちづくり条例や用途地域見直しなどその動向や成果を踏まえた上で、他市の取り組み状況や市民との連携などについて、まず研究してみたいと考えている。

**問** ①身体、知的、精神の3障がいのあるサービスの一元化。応能負担から応益負担。審査会の導入により障がいの程度



### 介護予防について

**問** 介護保険制度が見直され、介護予防の重要性が示されている。①介護予防事業の「おたっしや21」は高齢者の筋力向上トレーニングにより身体の状態を改善させる効果がある。より多くの方が参加できるように望むが。②この筋力トレーニングプログラムを地域の方に習得していただき、各地域で高齢者を対象に元氣ハツラツ教室等の取り組みを提案したいが。

**答** ①当初200名を予定しているが、予算の範囲内で工夫していく。②地域支援事業として議論していく。位置づけも含め今後調査・研究していく。

### 安全・安心な まちづくりについて

**問** 市民の安全・安心の確保は市の責務である。市内防犯パトロールは3月に終了したが、その代替措置がない。①安全・安心のまちづくりの構想を明確にし、市がリーダーシップを発揮するべきでは②監視庁のメールマガジン等を活用し、市民への情報提供を③救命救急講習及びAED講習を職員に推進し、市民が安全で安心して暮らせる環境を整備すべきでは。

**答** ①第4次基本計画の中で必要性が強調されており市政運営上の基本となるものである。②地域安心・安全情報共有システムのの実証実験に参加する中で情報提供を考えている、③職員研修の中で取り組んでいく。

### 大場 てる子

### 高齢者虐待防止に ついて

**問** 高齢化が進む中、増えつつある高齢者虐待への速やかな対応と防止策は緊急の課題だ。改正介護保険法では、高齢者虐待の防止及び早期発見は、市町村の必須事業となった。関連機関による相談や対応のネットワークづくりに早急に取り組むこと、対応マニュアルを現場関係者の参加で作成し関係者に配布すること、市への通報の周知を要望するがいかがか。

**答** 重点課題と認識。ケース内容を調査・検討し、積

### 介護保険制度改正に 向けて

**問** 新予防給付中の「筋力向上」は、日常生活に即した方法の導入を、また強制しないこと。「栄養改善・口腔ケア」は介護予防に有効。実施方法・人材確保等早目の対応を要望するが。総合的な相談窓口や包括的・継続的マネジメント機能を果たす「地域包括支援センター」は、幅広い情報の集積と優秀な人材の確保で、在宅介護の充実を望むがいかがか。

**答** 新予防給付では、本人の選択が基本。意思を尊重していく。関係機関と連携をとって準備を進める。包括支援センター運営協議会を設置し、中立・公平性を基本に充実した体制整備に努める。

### 池座 俊子

### 子どもの 居場所の保障を 子育てと 子育ての支援

**問** ①一小で試行されている新子どもフリースペースの土曜日、長期休業中の中止の理由と予算額は。②利用実態調査は。③保護者のさまざまな働き方を支え、障がいのある子どもの遊び場としても活用されているが、どうするか。④子どもの成長、発達の見極め、子育て家庭の現状の分析を行い、庁

**答** ①緊急行動計画における事業のスリム化を図る中で中止した。削減予算は176万円。②平成14年度のアンケート以降は、月1回実施協力者との打ち合わせの中でやっている。③教育委員会が事業の可否について検討を行い、必要があれば市長部局と調整を図っていきたい。④子どもの安全な居場所の確保に向けて努力していきたい。

### 安全は食を広げる 保育園の給食

**問** ①狛江市の小学校給食では遺伝子組み換え食材を使わないことが明記されている。認可保育園などの大豆加工品(しょうゆ、味噌、油、マーガリン、豆腐)について食材調査を行ったが、対応がまちまちである。幼い子どもの食の安全を確保するための対策が必要だが。

**答** ①遺伝子組み換え食品は使わないということでは養士に指導。②従来以上に開催していく。食材の使用規格基準も作成していく。

